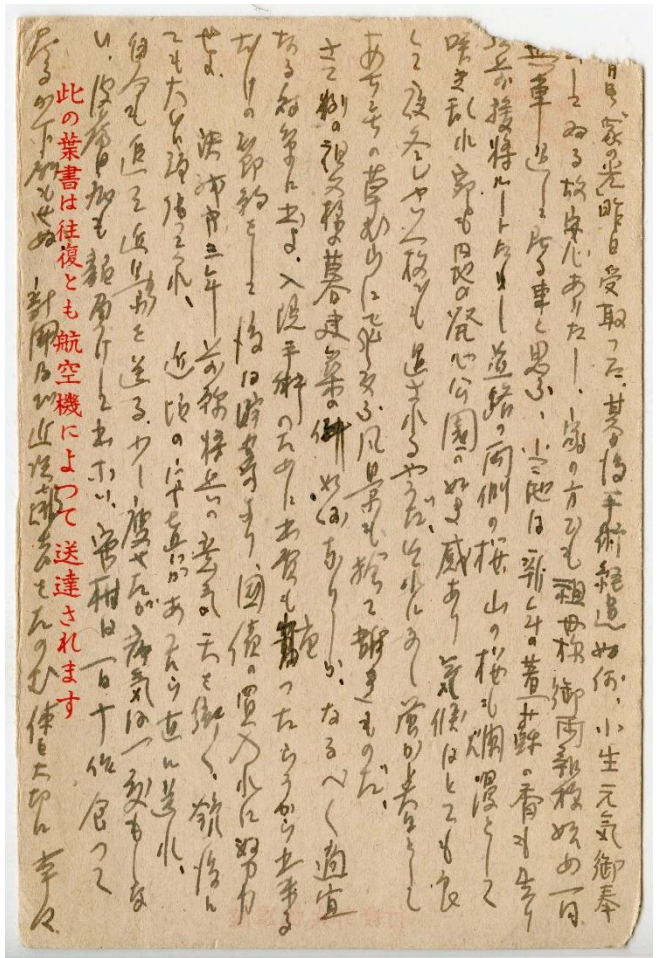




No. 15

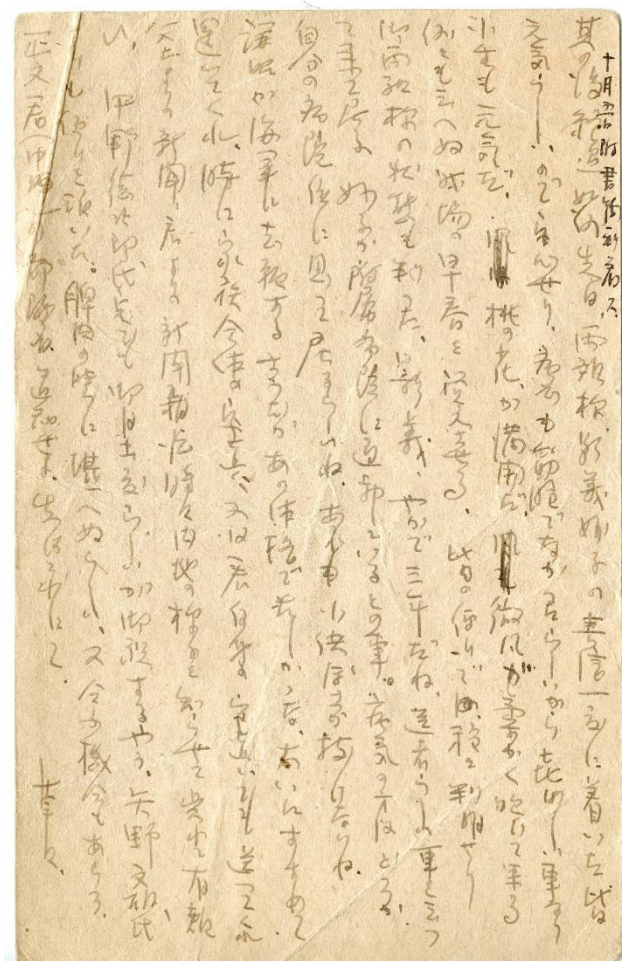
発送 昭和19年1月12日

受取 昭和19年2月5日

「援蒋ルートたりし道路の両側の桜、山の桜も爛漫として咲き乱れ宛も内地の発心公園の如き感あり」

*援蒋ルート…イギリスなどの連合国側が、蒋介石の国民政府を軍事支援するために用いた輸送路

*発心公園…久留米市草野町。江戸時代以来の桜の名所



No. 16

発送 昭和19年2月4日

受取 昭和19年4月30日

「十月五日附書簡到着ス」

「時に家族全体の写真、又は君自身の写真でも送ってくれ」

其の後状態如く、手鉗後よりば充分健康状態に爲意
を要す。小生が極元気な時「軍部」へ入る故安心せよ。
内務省駐日近頃以来、此等事書き著し後は余の心の拍も亦
満ち満ちたもの。望めは挑りた今分る、あつても心に苦しみあり
りともいふべきことなり。

湯島橋の夜中に就て洋物知りん（小生に代り即座して書きて呈
ささんまゝ）願わくは他の成る様にはありと

申渡す之等の御返名の返詞不明あり、小生表にのみ受て、
今後お返しの御返名御用あり、可

横濱の里木おえさまへ（この頃より一々も不平等あり無し老
いはし、後野村所にも即ち元あり可）中絶致候との旨
の御心なり、可、御返名判りなきは不足致す、
此の書を言ふと就新復活の道を拓むといふ

おれ

[illegible]

＊マーシャル群島の玉砕：日本軍は開戦直後よりマーシャル諸島を占領していたが上陸した米軍の攻撃により全滅した

[illegible]No.
19

発送 昭和19年3月16日

受取 昭和19年5月31日

「当〇〇は毎日三十二℃五度（摂氏）の暑さ」

「幸い小生熱病にも罹らずに居る」

「近頃多忙にて陣中作も余りない、そのうちにまた名句もできるだらう」

＊熱病：マラリアと思われる

＊名句：肇さんからの軍事郵便47通のうち10通に俳句19句と短歌1首が記されている。俳名は「麦水」

[illegible]

No.
20

発送 昭和19年3月21日

受取 昭和19年6月10日

「二月二十一日附航空便の返信昨日落手」

「虫の聲やトツケイ（大とかげ）の珍奇な鳴声は風流あり」

「益々米英最後の日まで頑張る覚悟だ」

＊トツケイの鳴声：トツケイヤモリは体長約30センチメートルで、インド、中国南部、インドシナ半島などに生息。名前は鳴き声に由来する。

十二月廿一日附封書昨日受取玉傳り相前様し居たり其
経道良好なる由安んぜり。家様の御指に相成梅も高秋園迄
二尺と重なり老齡ある故に今宵霜渡と相成。小生至つて元
氣に成る故安んぜり。月日は目明早や春を待ちあけり。梅も既
に数分初めたる事なり。当地は分面低く大雪過りしマニ
の時ありたり。故に日影は相成らず。一り皆之を
さき向井先生、畑瀬氏より新参御執事。御傳りと成り居り
し。御傳へし。小生の所橋先生の計付に近し。せよ。
九送皮屑科。石橋先生にえ。若し正澄の節は土井
羊吉先生に近し。同内金名竹傳。新出題の事。を送つてこれ
土井勉庵の節にあり。夜し九送同定金名竹傳も是非。其うち近
影を送る。夜に駭かぬ。日登りの節路に沐む。ア。車。馬。アリ。馬。牛。
鳥。声。相成りありぬ。月夜。月。白。又。
月。も。なく。汗。流。れ。た。格。つ。き。又。月。白。又。

No.
21

発送
昭和19年3月30日

受取 昭和19年6月10日

「内地は最早や春たけなわにて桜花も既に散り初めて居る事だらう。当地は今西瓜も大分過ぎてマンゴーの時季」

「次に駄作数句…」

其の後元氣が極み程始めは只々柳に仰せあり無事の事なり
小室より多岐の使に及ぶ此等云ふものなり
之等の暑り事はあつたもどか夜にはるると交合ぬえと暮る夜半
おききの世にほろりと来る今後は十三夜から月はおそくして
下地を平善に照らして居る。御うさぎとは揃ひてあらう我が軍
に即ち國民軍を結ぶ。若し待望の節細野院を突破して
佛井への進駐すると徳兵を居る將兵へえまの情にえと街の根
拠をも本太平洋の沖戦場へ移すと思はれて居る。公文二番も
そのうちを全一するやう。中上島長城に其れ云ふだりあるやう
である。堀口橋本浦川松本寺など大いなる居るべきものである。
御邊入として少々の付分は通都令の所ありし
りする心遣で遂に旦懷目印に向ひ甚近するのみ、御悔みなさ
致存は唯ともな気持の良い物だ、誠實・清りは種々先自
作らん量度む也。乙は之を文と付味を附する。加又

No.
22

発送
昭和19年4月3日

受取 昭和19年6月12日

「ラジオにて聞いたであらうが我が皇軍は印度国民軍と協力の下に待望の印緬国境を突破して破竹の進撃を続けて居る」

* 印度国民軍と協力：3月23日21時の大本営発表によると「印度国民軍を支援し、3月中旬に印度国内に侵入せり」。4月3日、日本軍はインパール北部のコヒマを一時占領した

ヒマを一時占領した

No.
24

昭和19年4月20日 発送

受取
日付不明

「毎日毎日摂氏の四十度前後の氣候で空には雲一つなく夜半に冷えるのが楽し

みだ…宵闇ともなれば北斗七星、北極星が空の神秘を語る如く光つて居る」

[illegible]

「ビルマの正月で……本年は独立最初の水祭りなので現地人も喜々として祭気分
溢つて居る。インパールの陥落も時間の問題になつて居る」

＊北斗七星：春から夏に、北の空にひしゃくの形に見える7つの明るい星の並び

＊北極星：地球の北極の方向に位置する恒星

*ビルマの独立.. 1943年8月1日に日本が承認した

＊インパールの陥落：連合軍の反撃が強まり、同年7月にインパール作戦中止となった。日本軍は約3万人の戦死者を出した